

4日目 7月16日

会 場： 松江市営野球場

第3試合	～2回戦～																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
松江商業	3	0	0	0	0	0	0	4	0							7	7	4		
石見智翠館	0	0	0	0	0	0	0	1	0							1	3	0		
(投手-捕手)																				
・ (松)	野間 - 木幡流→米原																			
・ (智)	山本→上 - 上→玉井																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (松)	土井						平井						平井							
・ (智)																				
(審判) [球審]	大畑			〔一塁〕 宮野					〔二塁〕 筑後					〔三塁〕 本田						
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(松)	38	7	7	1	1	1	10	5	1	1	4	0			4	1	0	0	0	0
(智)	35	3	0	0	0	0	15	2	0	0	7	0			0	0	0	0	0	0

「松江商業、平井の一撃で石見智翠館夏連覇の夢砕く！」

大会4日目松江会場の第3試合は、昨夏を制した石見智翠館が登場した。石見智翠館は春の県大会準優勝の実績もあり今大会も第4シードとなっている。相手も好投手、野間を擁する松江商業と1・2回戦屈指の好カードとして戦前から注目された。試合は前の試合の長期中断の影響で18時開始と大幅に遅れ、ナイターゲームとなった。

試合は思わぬ形で幕を上げた。1回表、松江商業は連打で1死1・2塁とし、4番の平井が今大会注目投手、山本のチェンジアップをレフトスタンドへ運び3点本塁打で先制に成功する。その裏石見智翠館は安打で先頭打者が出塁するが、続く打者の送りバントを投手が好守で防ぎ得点圏に走者を置かせない。そして昨夏の主力選手を迎えるがキレのある変化球で得点を許さない。石見智翠館は4回裏にも四死球と暴投で2死2・3塁の好機を得たが、得点することが出来ない。その後も石見智翠館が相手の守備の乱れから走者を溜める場面があったが、野間の直球と鋭く落ちるフォークを捉えられず無得点が続く。

試合が大きく動いたのは8回表、松江商業は先頭の9番土井が左中間への2塁打で出塁すると、四球と申告敬遠で無死満塁とする。ここで先制本塁打を放っている4番平井が前進守備のセンターを越える適時3塁打で3点を追加し勝負が決まった。松江商業は、その後もスクイズで1点を追加する。8回裏に守備の乱れから1点を許したものの、エース野間が石見智翠館を3安打15奪三振の快投で封じ込め、昨夏王者を破る大金星を挙げた。

